

令和6年7月24日

アトリエわお！様

印西市市民活動推進委員会 委員長

令和6年度企画提案型協働事業公開審査会（アイデア審査）審査結果について（通知）
盛夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、標記の件につきまして、下記のとおり審査結果をお知らせいたします。

記

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 事業名 | アトリエスタ保育園・幼稚園等訪問事業「アトリエしようよ！」 |
| 2 | 審査結果 | 否 |
| 3 | 付帯意見 | <ul style="list-style-type: none">・個別には感性が育まれることを評価する好意的な意見がある一方で、ニーズ把握ができていないのではないかといった意見がありました。・次回提案する際には、幼児教育において芸術に関わることが不足してしまうことによる課題は何なのか、よく検討してください。・事業費の費用対効果について検討してください。また、公立以外の事業実施についても検討してください。 |

問い合わせ先

印西市市民部市民活動推進課

活動支援係（本田・諫見）

TEL 0476-33-4431（直通）

Email siminkatudou@city.inzai.chiba.jp

アイデア審査会議要旨より抜粋

【提案２】アトリエスタ保育園・幼稚園等訪問事業「アトリエしようよ！」

提案者の発表

提案者はPDFを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問１）美術活動が幼児にどのくらい効果があると思われるか。

（提案者回答）子どものひらめいたことを形にすることで、感性が育まれると思います。

（質問２）保育園側はどのくらい意欲的なのか。

（提案者回答）園長会のほうにお邪魔させていただいたが、ニーズはあると思います。忙しいのでアートの準備をどうしたら良いかといった声も聞きます。簡単な記録などを団体側でさせていただき、保育士さんのお手伝いできればと思います。

（質問３）１箇所あたりの講師は１名ですか。また１箇所あたりの対象生徒数は何名ですか。

（提案者回答）１人の講師がいくつかの園を担当します。１箇所あたりの対象生徒数は保育園だと２０名から２５名。幼稚園は２５名を３クラス担当します。

（質問４）公立の園だけを対象とした理由は？市内全域に公平性を担保していく必要があるとも思うが。

（提案者回答）将来的には市内全ての園で活動していきたいと思っています。ただ予算のことを考えたときに、まずは公立の園から活動を始めようと考えました。

（質問５）まちづくりファンドでの事業と企画提案型協働事業の事業内容に違いはありますか。

（提案者回答）内容としては同一の事業を実施予定です。まちづくりファンドで今年度実施してから、課題を修正していこうと考えています。

（質問６）ハイブリッドでオンラインを併用して事業実施する考えはあるか。

（提案者回答）考えてみたいと思います。

令和6年7月24日

ベジガールズ 全世代に向けた運動支援様

印西市市民活動推進委員会 委員長

令和6年度企画提案型協働事業公開審査会（アイデア審査）審査結果について（通知）
盛夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり審査結果をお知らせいたします。

記

- 1 事業名 3～5 歳って何が大切！？我が子のためにできることって何だろう？わんぱく・おてんばキッズ事業
- 2 審査結果 否
- 3 付帯意見
 - ・対象者が曖昧であり、グレーゾーンの子と健常児を対象とするのは範囲が広すぎるのではないかと感じています。
 - ・次回以降の事業提案の際には、対象や事業規模など、専門家や行政機関とよく相談してください。
 - ・バランスボールの有効性や、市の施策との整合性について検討するとともに、幅広く他の機関と連携するなどしてください。

問い合わせ先

印西市市民部市民活動推進課

活動支援係（本田・諫見）

TEL 0476-33-4431（直通）

Email siminkatudou@city.inzai.chiba.jp

アイデア審査会議要旨より抜粋

【提案3】3～5歳って何が大切！？我が子のためにできることって何だろう？わんぱく・おてんば
キッズ事業

提案者の発表

提案者はPDFを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）グレーゾーンの子には、こういったアプローチをするのか。またグレーゾーンの子とバランスボールの因果関係について伺いたい。

（提案者回答）判断がつきにくいお子さんについて、お子さんもですが、子育てで悩む親御さんの手伝いができればと考えています。バランスボールとの因果関係についてですが、簡単に家でできる運動を支援していきたいという思いで、バランスボールを取り入れています。

（質問2）事業の対象者はグレーゾーンの子だけではなく、健常児も対象なのですか？

（提案者回答）はい。自分の子供にそういった障害があると認めたくない親御さんも多くいるので、グレーゾーンの子のための事業と銘打つのは難しいと考えます。そのため、幅広く健常児にも来ていただいて、知識や運動の大切さを知ってもらいたいと思っています。

（質問3）グレーゾーンの子を参加者の中からピックアップして対応する事業なのか、全体像が見えないので教えてほしい。また一人一人個性の違うお子さんたちと接するときの事業としての責任をどう考えるか。また療育事業との関係はどうか。

（提案者回答）親子で気軽に来てほしいのが一番の目的です。生活のヒントを全体に投げかけたいと思っています。市の療育事業が半年待ちと聞いています。市の専門機関と連携できるに越したことはないと思いますが、まずは必要としている情報を届けたいという思いです。事業形式として一角に保育の場を設けて、子が提案者で対応できない場合は、母のところに戻し、提案者が寄り添う形にしたいと思っています。